

1 令和元年度交付金実績

交付金名称	事業実績額	交付額
地方創生推進交付金	3,000,000 円	1,500,000 円
	浜松市 1,000,000 円	浜松市 500,000 円
	豊橋市 1,000,000 円	豊橋市 500,000 円
	飯田市 1,000,000 円	飯田市 500,000 円

2 令和元年度交付金の事業詳細

事業名称 実施概要	指標	目標値 (R1)	実績値 (R1)
<u>三遠南信地域情報活用・発信事業</u> 【内容】 ・三遠南信地域のオープンデータ普及・啓発活動（イベント開催） 【事業費】 ・負担金	オープンデータ ライブラリー閲覧件数	11,000 件	11,204 件
	オープンデータ ライブラリーを活用した新規事業の件数	9 件	10 件

三遠南信地域のオープンデータ普及・啓発活動について

1 オープンデータ活用・普及啓発のための市民ワークショップ

オープンデータを活用した三遠南信地域の魅力の発信や、地域住民向けのサービス開発などを促進するための普及啓発のため、フィールドワークにより地域の魅力を掘り起こし、オープンデータとして整備する市民向けワークショップを開催した。

●飯田市開催

日 時	令和元年 9 月 29 日（日）10:00～16:00
会 場	天竜川総合学習館かわらんべ
対 象	南信州地域

●浜松市開催

日 時	令和元年 11 月 23 日（土）10:00～16:00
会 場	浜松市福祉交流センター
対 象	遠州地域

●豊橋市開催

日 時	令和元年 11 月 24 日（日）10:00～16:00
会 場	アイプラザ豊橋
対 象	東三河地域

① 講演（約 1 時間）

SENA 担当者による挨拶と講演（15 分）と講師による講演（25 分）を行った。

オープンデータの基礎理解を目的に、SENA の取り組みやカタログサイト、長野市豊野地区の活用事例について紹介した。

SENA の取り組み説明（飯田会場）



講師による活用事例の紹介（浜松会場）



SENA の取り組み説明（豊橋会場）



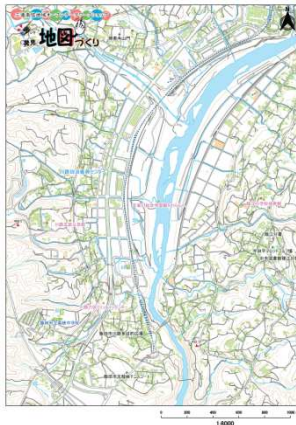
進行用スライドの表紙



② フィールドワーク（約1時間）

会場周辺を印刷した A3 判の紙地図を1人1枚ずつ配布。グループごとに会場周辺を1時間程度散策してもらい、テーマに応じた情報を地図に記入してもらうフィールドワークを行った。

配布用マップ（左から、飯田会場、豊橋会場、浜松会場）



フィールドワーク（飯田会場）



フィールドワーク（豊橋会場）



③ データ入力ワーク（約2時間）

フィールドワークで取得した情報をグループ内で集約・整理し、GIS を用いてデータ入力を体験してもらうワークを行った。データ入力用のツールとして、オープンソースの GIS ソフト QGIS ver 3.4 を使用した。

データ入力作業と並行して講師から2つの検討課題を提示し、グループごとに付箋紙と模造紙にまとめてもらうワーク（KJ法による討議）を行った。

(検討課題 1) 作成したマップの内容

(検討課題 2) マップを使いやすくするためのアイデア

講師からの手順説明（浜松会場）



グループワーク（飯田会場）



グループワーク（浜松会場）



グループワーク（豊橋会場）



④ 報告とまとめ（約 40 分）

グループごとに全員が前に出て、ワークの成果を約5分間ずつ発表してもらった。

はじめに作成したマップの説明をしてもらい、次にマップを使いやすくするためのアイデアや感想を報告してもらった。発表のしかたは個々のグループに任せた。役割を分担して全員で発表したり、（家族連れ参加者の）子供が発表したりと様々な工夫が見られた。

各グループの報告の後、講師から講評と参考になるサイトを紹介した。また、参加者全員で集合写真を撮影した。

グループ発表（豊橋会場）



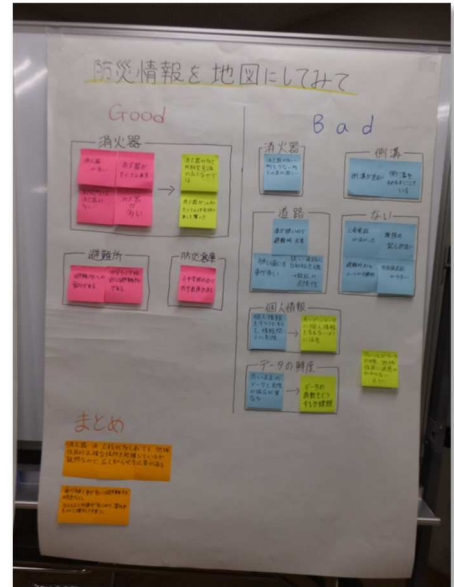
討議結果の例（飯田会場）



討議結果の例（浜松会場）



討議結果の例（豊橋会場）



2 オープンデータ活用・普及啓発のための職員研修

オープンデータを活用した三遠南信地域の魅力の発信や、地域住民向けのサービス開発などを促進するための普及啓発のため、SENA 構成員の職員向けのオープンデータ研修会を開催した。

●飯田市開催

日 時	令和元年 11 月 19 日（火）13:00～17:00
会 場	飯田市文化会館 2 階 会議室 1
対 象	南信州地域

●豊橋市開催

日 時	令和元年 11 月 21 日（木）13:00～17:00
会 場	豊橋市役所東館 12 階 東 123 会議室
対 象	東三河地域

●浜松市開催

日 時	令和元年 11 月 22 日（金）13:00～17:00
会 場	浜松市市民協働センター 第 1 研修室
対 象	遠州地域

① 講演（約 1 時間）

SENA 担当者による挨拶と講演（15 分）と講師による講演（25 分）を行った。

オープンデータの基礎理解を目的に、SENA の取り組みやカタログサイト、長野市豊野地区の活用事例のほか、国の事例として「RESAS」と「jSTAT MAP」を紹介した。

SENA の取り組み説明（浜松会場）



講師による活用事例の紹介（飯田会場）



SENA の取り組み説明（豊橋会場）



進行用スライドの表紙



② データ入力ワーク（約2時間）

グループ内で任意のテーマを設定してもらい、そのテーマに応じたデータ入力を体験してもらうワークを行った。入力するデータは、実在しない仮のもので構わないこととした。データ入力用のツールは、ワークショップの時と同じ QGIS ver 3.4 を使用した。

グループワーク（飯田会場）



グループワーク（豊橋会場）



データ入力作業と並行して講師から3つの検討課題を提示し、グループごとに付箋紙と模造紙にまとめてもらうワーク（KJ法による討議）を行った。

（検討課題 1）作成したマップの内容

（検討課題 2）各団体が保有するデータのうち、オープンデータにできそうなデータ

（検討課題 3）それらのデータをオープンデータにする際の課題、した後の課題

③ 報告とまとめ（約40分）

グループごとに全員が前に出て、ワークの成果を約5分間ずつ発表してもらった。

はじめに作成したマップの説明をしてもらい、次に模造紙にまとめた検討結果や感想を報告してもらった。発表のしかたは個々のグループに任せた。

各グループの報告の後、講師から講評と参考になるサイトを紹介した。

グループ発表（飯田会場）



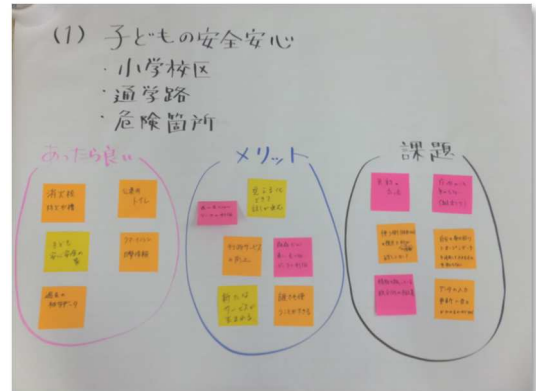
グループ発表（豊橋会場）



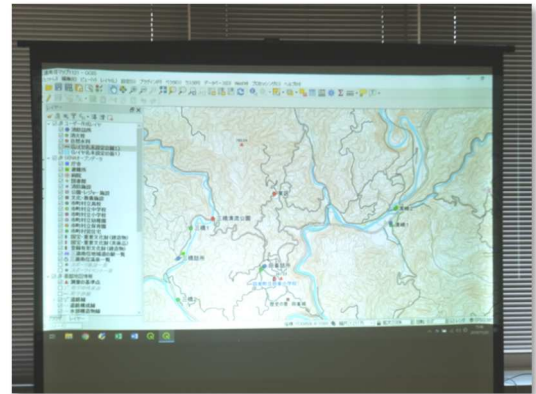
グループ発表（浜松会場）



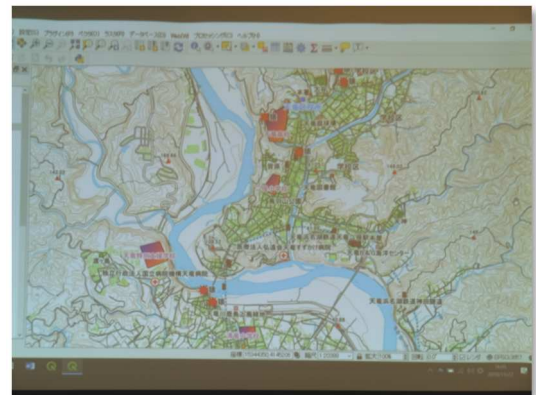
討議結果の例（飯田会場）



防災施設マップ（豊橋会場）



鳥獣出現マップ（浜松会場）



3 シビックパワーバトル SENA2020

三遠南信地域のオープンデータを利用し、今まで埋もれていたまちの魅力を発信するシビックパワーバトルを開催し、三遠南信地域内外へオープンデータの普及啓発を行った。

- ・開催日時 令和2年2月6日（木） 14:00～16:05
- ・会場 浜松市地域情報センター3階第1研修室
- ・テーマ 「わたしの好きな〇〇市」
- ・参加団体

飯田市「飯田コアカレッジ」、駒ケ根市「Team2612」、
田原市「渥美半島環境活動協議会」、豊橋市「sebone」
浜松市「浜松学芸高等学校」、袋井市「静岡理工科大学情報学部水野研究室」

【結果】

最優秀賞：浜松市「浜松学芸高等学校」

オーディエンス賞：駒ケ根市「Team2612」

CPA賞：袋井市「静岡理工科大学情報学部水野研究室」



オープンデータライブラリーを活用した新規事業について

- 1 オープンデータ活用・普及啓発のための市民ワークショップ（1件）
- 2 オープンデータ活用・普及啓発のための職員研修（1件）
- 3 シビックパワーSENA2020 バトル（1件）
- 4 Tableau を活用した三遠南信オープンデータの可視化や分析（7件）
 - ・ 一人当たりの可住地面積[m²]マップ
 - ・ 人口100人当たりの二輪車台数
 - ・ 納税義務者数（所得割）一人当たりの課税対象所得
 - ・ J R飯田線の駅マップ
 - ・ 給油施設マップ
 - ・ 発電施設マップ
 - ・ 三遠南信地域民泊（住宅宿泊事業）届出施設